



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 西日本旅客鉄道株式会社

上場取引所 東

コード番号 9021 URL <https://www.westjr.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 一明

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小澤 裕一

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	974,845	33.5	69,995		59,833		87,372	
2022年3月期第3四半期	729,990	12.0	79,464		82,631		54,021	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 92,404百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 54,350百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	358.50	
2022年3月期第3四半期	255.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,713,919	1,140,845	27.8
2022年3月期	3,702,421	1,074,211	26.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,032,979百万円 2022年3月期 968,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		50.00		50.00	100.00
2023年3月期		50.00			
2023年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,309,000	27.0	30,000		13,500		58,500	239.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	244,001,600 株	2022年3月期	244,001,600 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	315,906 株	2022年3月期	129,719 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	243,715,380 株	2022年3月期3Q	211,325,712 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると思われる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・決算短信補足資料は当社ホームページに掲載します。また、2023年1月31日にアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会の資料等については、開催後速やかに当社ホームページへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) その他	9

(参考) 2022年度第3四半期決算について

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響の縮小に伴うお客様のご利用や個人消費の回復等により、営業収益は前年同期比33.5%増の9,748億円、営業利益は699億円、経常利益は598億円となり、加えて、4月に認定された事業適応計画に基づく税制特例により繰越欠損金に係る繰延税金資産の未計上額435億円を計上したことに伴い、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は873億円となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響については、見通しが不透明な部分もありますが、今後も、お客様に安全に、安心してご利用いただくための取り組みをグループ全体で推進するとともに、全国旅行支援や水際対策緩和等の機会を捉え、観光需要の喚起、ご利用の促進を図っていきます。

また、安全の確保を前提に、コスト節減等の構造改革と財務基盤の立て直しに引き続き取り組んでいきます。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の概況

2022年度第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりです。

売 上 高	9, 7 4 8 億円
営 業 利 益	6 9 9 億円
経 常 利 益	5 9 8 億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	8 7 3 億円

これをセグメント別に示すと次のとおりとなります。

① 運輸業

当社グループは、2005年4月25日に福知山線列車事故を発生させたことを踏まえ、引き続き被害に遭われた方々への真摯な対応、安全性向上への弛まぬ努力を積み重ねるとともに、このような重大な事故を二度と発生させないとの決意のもと、最終年度となる「JR 西日本グループ鉄道安全考動計画2022」に基づき、ハード、ソフト両面から安全性向上の取り組みや安全マネジメントの仕組みづくりを進めています。

また、各エリアの状況に応じた需要回復策、行動様式やお客様の意識の変化を捉えた新たな施策の展開に取り組んでいきます。

運輸業セグメントでは、鉄道需要の回復によりご利用が増加したことから、営業収益は前年同期比35.8%増の5,520億円、営業利益は310億円となりました。

② 流通業

流通業セグメントでは、コンビニエンスストアや百貨店等の売上が増加したこと、全国旅行支援による旅行需要の押し上げ効果等により、流通業セグメントに区分される宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」や土産店において売上が増加したこと等により、営業収益は前年同期比33.9%増の1,240億円、営業利益は34億円となりました。

③ 不動産業

不動産業セグメントでは、ショッピングセンター運営業において、3月に開業した富山駅南西街区の商業施設「MAROOT」等の売上が好調であったこと、不動産販売・賃貸業において、投資家向け販売が増加したこと等により、営業収益は前年同期比11.9%増の1,116億円、営業利益は同14.5%増の275億円となりました。

④ その他

その他セグメントでは、全国旅行支援による旅行需要の押し上げ効果等により、ホテル業において売上が増加したこと、旅行業において、国内旅行収入やワクチン接種関連事業受託等の付帯事業収入が増加したこと等により、営業収益は前年同期比42.8%増の1,870億円、営業利益は51億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は3兆7,139億円となり、前連結会計年度末と比較し114億円増加しました。これは主に、棚卸資産の増加によるものです。

負債総額は2兆5,730億円となり、前連結会計年度末と比較し551億円減少しました。これは主に、借入金の減少によるものです。

純資産総額は1兆1,408億円となり、前連結会計年度末と比較し666億円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点における当社グループの当期連結業績は、概ね想定の範囲内で推移していることから、2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月1日に開示した内容を変更しておりません。

(注) 上記の業績見通しは、現時点で合理的であると思われる一定の前提に基づいており、変動する可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	319,843	294,678
受取手形及び売掛金	42,579	43,070
未収運賃	30,906	34,902
未収金	90,441	65,609
有価証券	79	34
棚卸資産	145,884	191,681
その他	88,902	74,621
貸倒引当金	△588	△540
流動資産合計	718,048	704,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,234,911	1,217,875
機械装置及び運搬具(純額)	385,046	388,087
土地	782,009	778,562
建設仮勘定	150,783	158,031
その他(純額)	57,029	49,869
有形固定資産合計	2,609,781	2,592,426
無形固定資産	31,268	35,760
投資その他の資産		
投資有価証券	97,520	101,685
退職給付に係る資産	3,134	3,537
繰延税金資産	197,964	232,181
その他	48,499	49,179
貸倒引当金	△4,936	△5,697
投資その他の資産合計	342,181	380,886
固定資産合計	2,983,232	3,009,073
繰延資産		
株式交付費	1,140	786
繰延資産合計	1,140	786
資産合計	3,702,421	3,713,919

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,134	50,328
短期借入金	14,229	15,370
1年内償還予定の社債	25,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	71,572	56,572
鉄道施設購入未払金	1,167	1,205
未払金	105,944	75,444
未払消費税等	8,371	21,239
未払法人税等	9,535	6,303
前受運賃	30,404	35,089
前受金	62,336	99,426
賞与引当金	23,480	13,274
災害損失引当金	1,205	1,130
ポイント引当金	654	653
その他	164,860	161,193
流動負債合計	575,898	637,232
固定負債		
社債	949,990	869,991
長期借入金	578,435	558,398
鉄道施設購入長期未払金	98,681	98,069
繰延税金負債	1,145	2,014
新幹線鉄道大規模改修引当金	25,000	28,125
環境安全対策引当金	5,880	3,875
線区整理損失引当金	16,627	16,023
退職給付に係る負債	238,077	221,263
その他	138,471	138,080
固定負債合計	2,052,311	1,935,842
負債合計	2,628,209	2,573,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	226,136	226,136
資本剰余金	183,812	183,751
利益剰余金	561,874	624,953
自己株式	△482	△1,378
株主資本合計	971,341	1,033,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,270	734
繰延ヘッジ損益	—	5
退職給付に係る調整累計額	△1,131	△1,222
その他の包括利益累計額合計	△2,402	△483
非支配株主持分	105,272	107,865
純資産合計	1,074,211	1,140,845
負債純資産合計	3,702,421	3,713,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	729,990	974,845
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	690,618	776,700
販売費及び一般管理費	118,836	128,149
営業費合計	809,455	904,850
営業利益又は営業損失(△)	△79,464	69,995
営業外収益		
受取利息	14	28
受取配当金	2,217	981
受託工事事務費戻入	229	132
持分法による投資利益	997	1,150
雇用調整助成金	8,840	1,837
その他	3,767	3,129
営業外収益合計	16,066	7,260
営業外費用		
支払利息	16,096	15,722
その他	3,135	1,700
営業外費用合計	19,232	17,422
経常利益又は経常損失(△)	△82,631	59,833
特別利益		
固定資産売却益	23,049	6,148
工事負担金等受入額	6,465	7,439
収用補償金	191	456
その他	3,279	757
特別利益合計	32,986	14,801
特別損失		
工事負担金等圧縮額	5,945	6,899
収用等圧縮損	191	455
新型コロナウイルス関連損失	1,804	—
その他	2,530	2,917
特別損失合計	10,471	10,272
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△60,116	64,361
法人税、住民税及び事業税	5,377	8,142
法人税等調整額	△12,833	△34,196
法人税等合計	△7,456	△26,054
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52,660	90,416
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,361	3,043
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,021	87,372

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52,660	90,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,242	2,202
繰延ヘッジ損益	△0	6
退職給付に係る調整額	△353	△100
持分法適用会社に対する持分相当額	△93	△120
その他の包括利益合計	△1,690	1,987
四半期包括利益	△54,350	92,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,794	89,291
非支配株主に係る四半期包括利益	1,444	3,113

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）その他

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

当四半期連結会計期間の繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りにおいては、基幹事業である鉄道事業のご利用状況が2022年度内に漸次回復すると仮定しているほか、当社グループ各社の業績も概ね同様に回復すると仮定しております。しかしながら、実際の消費動向等については不確定要素が多く、当連結会計年度以降の業績に影響を及ぼす可能性があります。